

●Web/NW脆弱性診断士

			定義
ジョブディスクリプション			ITシステムの脆弱性診断を実施 ・Webアプリケーションやプラットフォームの脆弱性やセキュリティ機能の調査 ・脆弱性診断の報告書の作成と説明、対策の提言
エントリー	業務遂行能力	管理	上位のサポートにより以下を部分的に実施できる： ⑥脆弱性診断業務（情報収集・報告書作成・リスク評価） -脆弱性に関する公開情報(NVD、JVNなど)を収集できる -報告書に記載すべき内容について知っていて、報告書を作成できる -リスク評価基準に則ってリスク評価ができる
		技術	上位のサポートにより以下を部分的に実施できる： ⑤診断ツールの使用 -診断環境に応じて、必要な環境を準備できる -対象の診断に必要なネットワーク設定を行うことができる -代表的な診断ツールの設定を行うことができる -代表的な診断ツールやコマンドを利用して、典型的なパターンの場合の脆弱性を発見できる -必要なログ、画面キャプチャ、パケットなどを取得できる -正常に診断していることをログなどより確認できる -自動診断ツールの診断結果の精査を行える -時間当たりのセッション数や通信量を設定し診断が行える
	知識	④脆弱性診断業務（診断計画・リスク評価）に関する知識 -診断の業務フローを理解している -診断対象の画面、リクエスト、アクション、パラメータを洗い出す方法を理解している -クラウド環境など診断対象のプラットフォームに応じた注意事項や診断許可を得る方法を理解している -診断中に対象環境に与える可能性がある影響を理解している -禁止事項の確認とその必要性を理解している -診断をする際における守秘義務について知っている -ゼロデイ情報の適切な扱い方を理解している -脆弱性診断業務に関連する法律の基礎的な知識や、典型的な事例を理解している -脆弱性関連情報の届け出制度の概要を理解している -代表的なリスク算出方法を理解している -脆弱性診断業務に関連するセキュリティ基準やガイドラインの概要を理解している ①コンピュータサイエンス/IT基礎 -標準的なプロトコルと技術の用途や特徴、悪用された場合の影響を理解している -ネットワークセキュリティ技術の基本的な仕組みを理解している -OSの基本的な設定項目を理解している -シェルの基本的な操作方法を理解している -スクリプト言語について、基本的な構文を理解している -プログラミング言語について、基本的な構文を理解している ②セキュリティに関する基礎知識 -暗号、PKI、認証要素の特徴や不備による影響を理解している ③脆弱性に関する知識 -代表的な脆弱性を理解している -典型的なパターンの場合の脆弱性を発見する方法を知っている -典型的な対策方法を知っている -典型的な被害を知っている -代表的な攻撃手法とシナリオを理解している -代表的な防止方法を理解している -パッチマネジメントの重要性を理解している	

アプローチ

（習得の順番を表しています。下から順番に習得するのが推奨です。）

